

San-iku 通信

社会福祉法人贊育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE



贊育会
チャリティーコンサート
2025
10/16開催

REPORT

特集 贊育会チャリティーコンサート開催報告

- 贊育会の取り組み:「人を大切にする介護」を、未来へつなぐために
- 小さな命を守るサポーターとしてご参加ください！

47
Vol.
2025 AUTUMN





指揮 和田一樹



管弦楽 新日本フィルハーモニー交響楽団



ヴァイオリン 大谷康子



特集
REPORT



司会 岩崎瑞穂

～ともに生きる音楽会～

賛育会チャリティーコンサート2025 開催報告

10月16日(木)に、すみだトリフォニーホールにて賛育会チャリティーコンサートを開催しました。

地域の皆さまや企業のご支援に深く感謝申し上げます。

今年で16回目を迎えた「賛育会チャリティーコンサート2025」には、999名のお客様にご来場いただき、盛会のうちに終了いたしました。ご来場くださった皆さま、そして日頃より温かく応援くださる地域や企業の皆さんに、心より感謝申し上げます。

■音楽でつながる絆

今年のテーマは「音楽でつむぐ、地域とみらい」。音楽は国や言葉を超えて、人と人の思いをつむぎ、絆を深めてくれます。その想いをのせて、ヴァイオリニスト大谷康子さんと新日本フィルハーモニー交響楽団の皆さんによる心温まる演奏が披露されました。イギリスから東ヨーロッパ、アジア、そして日本へ。音楽で世界を旅するようなプログラムに、会場は感動と拍手に包まれました。

■地域とともに、いのちを支える賛育会のこれから

本コンサートは、賛育会が地域での新たな働きを担うため、賛育会病院の建て替えを進めることを目的にして2008年より始まりました。墨田区太平地区では築94年の外来棟西館の解体を終え、立花地区では2027年度中の開設を目指して、新病院と特別養護老人ホームの建設が進んでいます。両拠点が連携し、より安心・安全な医療と福祉の提供を目指しています。

これからも、地域とともに「いのち」を支え合い、未来へとつむいでまいります。

なお、コンサートの益金はすべて、賛育会病院の建て替えのために大切に活用させていただきます。

出演者からのメッセージ

賛育会病院を応援しています! ヴァイオリニスト 大谷康子

賛育会病院の創立理念に深く感銘を受け、長年ご縁をいただいております。今でこそ医療はどなたでも平等に受けられるものと思いますが、1918年の創立当時、医療が限られた人々のものであった時代に、「すべての人に医療を」という志で、こどもや婦人、一般庶民のために尽力されたことに敬意を抱いています。

玉の肌株式会社の故・三木晴雄会長とのご縁を機に、「音楽でみんなの力になりたい」との想いで活動してまいりました。音楽には人と人をつなぎ、心を支える大きな力があります。明るい未来に向かって誰もが安心して暮らせるよう「音楽のちから」を通じて、賛育会病院をこれからも応援させていただきたく思っております。



賛育会チャリティーコンサート2025 協賛寄付者一覧(敬称略・順不同)

～ご協力ありがとうございました～

◆ 特別協賛

ミヨシ石鹼株式会社
すみだパークプレイス

◆ 企業協賛

学校法人立志舎
株式会社柴橋商会
日本調理機株式会社
株式会社東基
株式会社ヘルスケア
都清掃株式会社
丸源飲料工業株式会社
日本海綿業株式会社
株式会社アマノ
公益財団法人東京YMCA
株式会社エーシーエ設計
株式会社コンティ
タイハイ株式会社
株式会社INA新建築研究所
株式会社サニクリーン甲信越
有限会社天佑
アイ・アンド・イー株式会社
コイケ酸商株式会社
株式会社ヤマシタ
株式会社ライズビルマネジメント
トヨタモビリティサービス株式会社
三菱UFJ銀行
日本給食設備株式会社
白十字株式会社
相模トライアム株式会社
ミツワ医療器械社
株UCP(セブンイレブン墨田太平3丁目店)
株式会社ロッテシティホテル
リメイクワン株式会社
株式会社エム・アイ・シー
有限会社山三商事
協栄電気興業株式会社

株式会社三浦工務店

株式会社リアンプランニング

日本パーキング株式会社

有限会社エースプリント

東京東信用金庫

株式会社りそな銀行

株式会社ホシカワ

日本通信機工業株式会社

吾嬬医院

株式会社きらぼし銀行

イワツキ株式会社

株式会社ビルネット

株式会社エンブライ特

株式会社G-STUDIO

東日本電信電話株式会社(NTT東日本)

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

アットゴー株式会社

株式会社ホンダ地所

社会福祉法人牧ノ原やまばと学園

本日商事株式会社

大王製紙株式会社

東海機材株式会社

株式会社ベビーリース

神奈川東部ヤクルト販売株式会社

株式会社TOKAI

銀座在宅醫院

株式会社シンクロアンド

株式会社安藤・間

女子栄養大学短期大学部

中央エレベーター工業株式会社

株式会社オキシロインターナショナル

株式会社インソース

ヤーマン株式会社

エス・イー・シーエレベーター株式会社

株式会社トーエネック

オリックス自動車株式会社

医療法人社団相明会岩本歯科医院

鹿島建設株式会社

埼玉日産自動車株式会社

ダイキンエアテクノ株式会社

玉川学園薬局金井店

医療法人社団草思会

長野リネンサプライ株式会社

株式会社プラスPM

三協エアテック株式会社

一般社団法人チーム結

株式会社静岡銀行

株式会社アメニティ

株式会社グリーンヘルスケアサービス

PNJ事業協同組合

有限会社オリイ(メモリアル・オリイ)

株式会社要興業

株式会社 三井住友銀行

株式会社ナリコマエンタープライズ

株式会社アクア

株式会社リース東京

株式会社EVERYFOOD

東洋リネンサプライ株式会社

日清医療食品株式会社

三信電気株式会社

株式会社金星

日本カルミック株式会社

株式会社オカムラ

スズキ株式会社

中央パートナーズ株式会社

ジャパンエアマット株式会社

新渡戸文化短期大学

株式会社ニック

医療法人社団LSM寺本内科歯科クリニック

テクバン株式会社

株式会社ネオキャリア

ジャパンエレベーターサービス神奈川株式会社

株式会社大塚商会

◆ 個人協賛

中山 順	花田 直樹	江口 洋一郎	小川 美奈	森 佐知子	竹佐古 真希
堀家 世司	北井 秀樹	石田 悟	宮澤 明住	木口 圭子	遠矢 充宏
藤田 寿彦	栗林 江利子	石引 麻里子	伴 成顕	中山 勝子	倉持 登志子
山本 喜代子	中村 基信	清水 紀美代	関根 嘉子	山本 美智江	坂根 慶子
大河内 道子	小林 正和	古田 和彦	遠藤 仙子	大江 浩	島田 茂

匿名希望 5名

※コンサート当日多くの方々より温かいご賛同をいただき、369,483円の募金をお寄せいただきました。



助産師たちの未来を拓き、地域の笑顔を支える

集中治療室(ICU)での勤務経験を経て助産師の道へ進んだ渡邊さんは、産科に携わって11年になります。二児の母として育児と仕事を両立し、今年7月に師長に就任しました。育休復帰直後の大役でしたが、「チームの支えがあれば挑戦できる」と踏み出したその前向きな姿勢は、周囲に勇気を与えています。

現在、医療全体で看護師の人材不足は深刻です。需要に供給が追いつかず、将来的には数十万人規模の不足が懸念されています。背景には少子高齢化による医療需要の増加に加え、若い世代の看護職員の減少と、60歳以上の増加という世代構成の変化があります。特に産科では、急変対応の力を養うため、助産師が他科で経験を積むケースが多く、結果として人員不足に見える構造的課題があります。

渡邊師長は、この課題を踏まえ、求人内容を工夫するなど新たな採用戦略に取り組んでいます。また、スタッフ一人

ひとりの「やりたいこと」に耳を傾け、母乳育児・ベビーバスケット・母親教室など、個々の専門性を活かせる環境を整備し、働きがいを高めています。さらに、師長の視線は未来へ向いています。産後ケア専用病棟の設置を構想し、専任の保育士と助産師が家族全体を支える体制を目指しています。父親やきょうだいも一緒に宿泊できる新しいケアのかたちは、地域にとって大きな安心をもたらすことでしょう。母親教室の刷新や、児童相談所との連携強化にも取り組み、包括的な支援の広がりを描いています。

「社会福祉法人として困っている母親を支える使命を忘れず、その上で収益の改善にも取り組みます」。そう語る師長の姿は、地域に根ざした医療を担う強い覚悟そのものです。法人やチームと共に課題解決を進める渡邊師長。そのひたむきな姿は、今を輝いて働くスタッフたちの象徴だと確信しました。

(取材・文 法人事務局総務部)



賛育会病院・東京都墨田区 「いのちを守り、地域と歩む」 ～保護者へ向けたいのちの授業を、初開催しました

賛育会病院では2000年から、助産師が中心となり地域の子どもたちに「いのちの授業」を届けてきました。いのちの尊さを伝えることは、私たち医療者にとって大切な使命であり、地域とつながる大切な機会でもあります。今回、両国小学校のご依頼を受け、初めて保護者の皆さん向けに授業を行いました。子どもたちの学びの様子を写真とともに紹介し、産婦人科の田中医師が、子どもが性を前向きに受けとめ、被害から身を守るために家庭での関わりについてお話ししました。参加者からは「とても参考になった」との感想もいただき、地域の方々といのちの大切さを共有できましたこと、病院の社会的使命を改めて感じる機会となりました。

(賛育会病院 助産師 館ヶ澤寿香)

「人を大切にする介護」を、未来へつなぐために



次の時代へ、「人を大切にする介護」をどうつなぐのか？ 現場発の新しい働き方と、介護テクノロジーの導入で、「持続可能な温かい介護」の実現に取り組んでいます。

■介護の未来を支える、新たな挑戦

日本社会は今、労働人口の減少という大きな課題に直面しています。介護の現場も例外ではなく、人材不足は年々深刻さを増しています。そんな中でも、私たちは「人を大切にする介護」を守り続けたいと考えています。それはつまり、職員もご利用者も安心して、日々を豊かに過ごせる介護の実現です。その思いをかたちにするために、賛育会全体で「生産性向上推進プロジェクト」を立ち上げました。

■人を大切にする介護を、次世代へ

限られた人員の中で、ご利用者一人ひとりに寄り添う介護を続けるためには、職員が安心して働く環境が欠かせません。昨年度は各施設の担当者が集まり、「これからの中の介護のあり方」について話し合いを重ねました。

その中で改めて確認できたのは、介護の中心にはいつも“人”がいるという原点です。ご利用者はもちろん、ご家族・地域、そして職員を大切にする。この思いを次の世代につなぐために、プロジェクトが動き出しました。

■現場から生まれた「新しい働き方モデル」

最初に取り組んだのは、介護員一人ひとりが「自分はどう働きたいか」「ご利用者とどう関わりたいか」を見つめ直すことでした。

「働きやすさの中にやりがいを見つけられる職場」を目指し、現場の声を基に新しい“働き方モデル”を策定。今後は各施設で実践を重ね、現場の課題を少しづつ解決しながら、より良い介護の仕組みへと育てていきます。

生産性向上推進プロジェクトの様子



■介護テクノロジーで豊かな時間と心を生み出す

介護の質を守りつつ業務の効率を高めるために、ICT機器をはじめとする介護テクノロジーの導入も進めています。「現場で本当に使いやすいか」「課題解決につながるか」を大切にしながら検証を重ね、最適な機器を選んでいます。

効率化で生まれた時間を、ご利用者との会話やふれあいに充てられるように。そして職員にとっても、やりがいや誇りを持って働く環境につなげたい。介護に関わるすべての人に「豊かな心」を広げていくことを目指しています。

■共に築く持続可能な介護

かつての現場では、ご利用者と職員が一緒に散歩を楽しみ、何気ない会話に笑い合う時間がありました。私たちは今もそのような人と人との温かいつながりを大切にしながら日々のケアに取り組んでいます。最近ではこうした機会が以前より限られてきていますが、もう一度その時間を少しづつ広げていきたいと思っています。

「人を大切にする介護」とは、職員もご利用者も安心して豊かに過ごせること。

その姿を次の時代へと引き継ぐ挑戦は、賛育会だけでなく、地域の皆さま・ご家族・関係者の方々と手を携えて歩んでこそ実現できるものです。どうか、私たちの取り組みへの、温かいご支援とご理解をお願いいたします。

(生産性向上推進プロジェクト統括責任者 三好健太郎)



赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト

賛育会の理念、「隣人愛」の実践とともに。

小さな命を守るサポーターとしてご参加ください！

『行って、あなたも同じようにしなさい。』(ルカによる福音書10章37節)。賛育会は、聖書にある「善いサマリア人」に示された隣人愛の実践を理念に歩んできました。その活動の原点は1918年。社会の中で弱い立場にある婦人と小児のために妊婦乳児無料相談所を開設したことに始まります。時代が変容していく中でも、その時代の「社会の狭間で小さくされている人々」に寄り添う、隣人愛の実践は受け継がれてきました。

現在日本では、予期せぬ妊娠や孤立出産により、母子が命の危険にさらされる深刻な現実があります。経済的な困窮から健診を受けられない女性、誰にも頼れず一人で出産を迎える母親、生まれた赤ちゃんを育てられず行き場を失ってしまう家庭など、様々な苦しい状況が身近に存在しています。

賛育会は「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」を通じて、この問題に取り組んでいます。内密出産やベビーバスケット、匿名での妊娠相談窓口などを提供することで、母子の命を守る活動を広げています。そこには、「誰

ひとり取り残さない」という揺るぎない理念と信念が込められています。

しかし、これらの取り組みを持続させ、より多くの命を守るためにには、皆さまの力が不可欠です。そこで私たちは「サポーター制度」を設けました。毎月1,000円からの継続的なご寄付を通じて、私たちの活動を支えていただきたいのです。皆さまからのご支援は、緊急時に駆け込む母子の医療費や生活支援、赤ちゃんを受け入れる体制の整備に、大切に活用されます。

命の重さに国籍や境遇は関係ありません。一人ひとりのご支援が大きな希望の光に結実します。私たちとともに「赤ちゃんのいのちを守る最後の砦」となる活動にご参加ください。ぜひ、未来の命をともに支えましょう。



妊娠したかも SOS
賛育会



賛育会病院
内密出産



賛育会病院
ベビーバスケット

「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」 サポーターを募集しています。



.....
サポーター制度は毎月1,000円から、任意の口数で継続的に
サポートしていただくご寄付の方法です。

お手続きはこちらから



「寄付金のつかいみち」
で「赤ちゃんのいのちを
守るプロジェクト」を
選択してください。

賛育会の「隣人愛」とは？～賛育会 山崎チャプレンからのメッセージ

「イエスは言われた。『行って、あなたも同じようにしなさい。』」

ルカによる福音書 10章37節より

新たなミッションへの招き

賛育会チャプレン 山崎 正幸

賛育会の歩みの基盤には、聖書が伝える「隣人愛」、わけてもイエス・キリストが語られた「善いサマリア人のたとえ」があります。このお話では、ユダヤ人から差別を受けてきたサマリア人が、強盗に襲われ命の危機に瀕していたユダヤ人の旅人を助けます。「命」の危機に直面したとき、サマリア人は自らの固定観念や被差別の体験を越えて、ユダヤ人の旅人の《隣人》となりました。この姿は、命を救うために私たちが変わること、そして神

が与えてくださった命の尊さを見つめ直すよう促しています。賛育会もまた、そうした「命を通して変えられる」経験を重ねてきました。いま、「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」を通じて、私たちは新たな使命に導かれていくのです。



SAN-IKUKAI
INFORMATION

施設
通信 | 祝
周年

マイホーム新川が30周年を迎えるました（東京都中央区）

日頃より皆さまからの温かいご支援、ご協力を賜り、マイホーム新川は2025年10月10日、開設30周年を迎えることができました。ご利用者、地域住民、行政等の関係者、そして職員に支えられ、この日を迎えられましたことに、心より感謝申し上げます。



瀬戸牧師による礼拝と、式典の様子

開設30周年記念行事を開催しました

10月19日に開設記念の礼拝・式典と、オープンハウスを開催しました。大勢の方にお越しいただきまして、御祝いの言葉を頂戴しました。今回、マイホーム新川では、初めて礼拝を実施しました。学校法人鶴川学院理事長の瀬戸英治牧師から「私たちを支えるもの」と題し、キリスト教と福祉の関わりについて分かりやすい説教をいただきました。

オープンハウスでは、30周年を記念して銀座中学校吹奏楽部60名の生徒による元気いっぱいの演奏が行われました。ご利用者世代の心に響く曲として、美空ひばりの「川の流れのように」などが演奏され、ご利用者は涙を流しながら鑑賞していました。また、生徒の保護者など、普段、高齢者施設に足を運ぶ機会のない世代の方や、地域の方と一緒に祝福し、楽しいひとときを過ごすことができました。

（マイホーム新川施設長 北川達三）



演奏に聞き入る、会場いっぱいのご利用者&保護者の方々



施設長紹介

新施設長のご紹介

たちばなホーム施設長 森田 裕康さん（東京都墨田区）

9月より、たちばなホームの施設長に着任いたしました森田と申します。1997年の開設以来、地域の皆さんとともに歩み続け、今年で28年目を迎えるこの施設の歴史に、改めて責任の重さを感じております。

これからも職員と力を合わせ、地域とのつながりを大切にしながら、ご利用者お一人おひとりが安心して笑顔で過ごせる施設づくりに努めてまいります。

今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



主要人事

〈退職〉

2025年7月31日付

たちばなホーム施設長 吉田美香(依願退職)

〈異動〉

2025年8月1日付

墨田・中央事業所 地域事業所長 兼 東京清風園施設長

赤荻佐和 たちばなホーム施設長兼務とする

2025年8月31日付

墨田・中央事業所 地域事業所長 兼 東京清風園施設長 兼 たちばなホーム施設長

赤荻佐和 たちばなホーム施設長兼務を解く

〈登用〉

2025年9月1日付

東京清風園 生活部長

森田裕康 たちばなホーム施設長とする



皆さまのお支えに感謝いたします

2025年7月1日～9月30日までに下記の団体・個人の方々よりご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。
複数回ご寄付いただいた方も表記は一度とさせていただきました(敬称略 順不同)。

【企業】

株式会社三井住友銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社りそな銀行 本郷支店
株式会社きらぼし銀行
株式会社静岡銀行 御前崎中央支店
東京東信用金庫
有限会社山三商事
有限会社オリイ
有限会社エースプリント
本日商事株式会社
日本通信機工業株式会社
日本調理機株式会社
日本給食設備株式会社
日本基督教団 三崎町教会 みさき基金
日本海綿業株式会社
日本パーキング株式会社
日清医療食品株式会社
東洋リネンサプライ株式会社
東海機材株式会社
都清掃株式会社
長野リネンサプライ株式会社
中央パートナーズ株式会社
中央エレベーター工業株式会社
大王製紙株式会社
相模トライアム株式会社
神奈川東部ヤクルト販売株式会社
女子栄養大学短期大学部
宗教法人カトリック東京大司教区 カリタス東京
社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
鹿島建設株式会社
三信電気株式会社
三協エアテック株式会社
埼玉日産自動車株式会社
銀座在宅醫院
玉川学園薬局 金井店
協栄電気興業株式会社
公益財団法人東京YMCA
公益財団法人 愛恵福祉支援財団
吾嬬医院
丸源飲料工業株式会社
株式会社東基
株式会社新青土地コーポレーション
株式会社柴橋商会
株式会社三浦工務店
株式会社金星
株式会社教文館
株式会社安藤・間
株式会社ロッティシティホテル

株式会社リース東京
株式会社リアンプランニング
株式会社ライズビルマネジメント
株式会社ヤマシタ
株式会社ホンダ地所
株式会社ホシカワ
株式会社ヘルスケア
株式会社ベビーリース
株式会社プラスPM
株式会社トーエネック
株式会社シンクロアンド
株式会社サニクリーン甲信越
株式会社コンティ
株式会社グリーンヘルスケアサービス
株式会社オキシロインターナショナル
株式会社オカムラ
株式会社エンブライト
株式会社エム・アイ・シー
株式会社エーシーエ設計
株式会社インソース
株式会社アメニティ
株式会社アマノ
株式会社アクア
株式会社UCP
株式会社TOKAI
株式会社INA新建築研究所
株式会社G-STUDIO
株式会社EVERYFOOD
学校法人 立志舎
医療法人社団草思会 クボタクリニック
医療法人社団相明会 岩本歯科医院
医療法人社団LSM寺本内科歯科クリニック
リメイクワン株式会社
ヤーマン株式会社
ミツワ医療器械社
トヨタモビリティサービス株式会社
タイヘイ株式会社
ダイキンエアテクノ株式会社
セントラルエンジニアリング株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
コイケ酸商株式会社
オリックス自動車株式会社
エス・イー・シーエレベーター株式会社
イワツキ株式会社
アットゴー株式会社
アイ・アンド・イー株式会社
PNJ事業協同組合
NTT東日本株式会社

【個人】

高橋 貞二郎
愛智 直行
安間 てう子
伊藤 多恵子
遠藤 仙子
遠藤 美惠
河野 通久
花田 直樹
関根 嘉子
岩田 雅男
逆井 勝巳
宮澤 明住
栗山 政子
栗林 江利子
月本 昭男
原口 安美
古田 和彦
五十嵐 康則
向谷 美佐子
江口 洋一郎
坂本 健司
三浦 教子
山形 秀夫
山本 喜代子
山崎 晓子
寺田 正毅
篠原 栄子
柴田 ひふみ
小山 栄次郎
小山 和子
小川 美奈
小池 規久子
小林 正和
森 佐知子
森重 勝
神谷 幸男
水上 拓郎
杉本 理恵
清水 紀美代
清水 三郎
生川 鉄兵
西東 初音
青木 健作
青木 直典
石引 麻里子
石川 憲彦
石田 悟
前田 さやの
倉持 登志子
増田 喜代子
太田 裕子
大河内 道子
大江 浩
大塚 衣織
谷口 博大
池田 和隆
中山 順
中山 勝子
中所 武司
中川 優子
中村 基信
仲田 草苑子
朝倉 万里
鳥羽 ノリ子
田中 昇次
島田 恒
湯川 寿々子
藤田 好夫
藤田 寿彦
薄井 佳代
伴 成顕
富田 民人
武田 すぎ子
武藤 貴代子
平野 俊如
片岡 愛
北井 秀樹
堀家 世司
野村 周央
野田 昌太郎
矢島 裕子
矢部 ハマ子
有田 邦彦
鈴木 小百合
鈴木 茂
崔 美樹
澤田 敦子
濱田 邦夫

匿名希望 57件

San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の
広報誌「さんいくつうしん」

San-iku通信 Vol.47 2025 秋号
編集:賛育会法人事務局 発行人:中村 基信 発行所:社会福祉法人 賛育会

賛育会後援会だより 

賛育会後援会だより 2025年11月号・第114号
編集・発行人:小堀 洋志
(20251105-6520)

社会福祉法人 賛育会

〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8

URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ

TEL:03-3622-7614

